



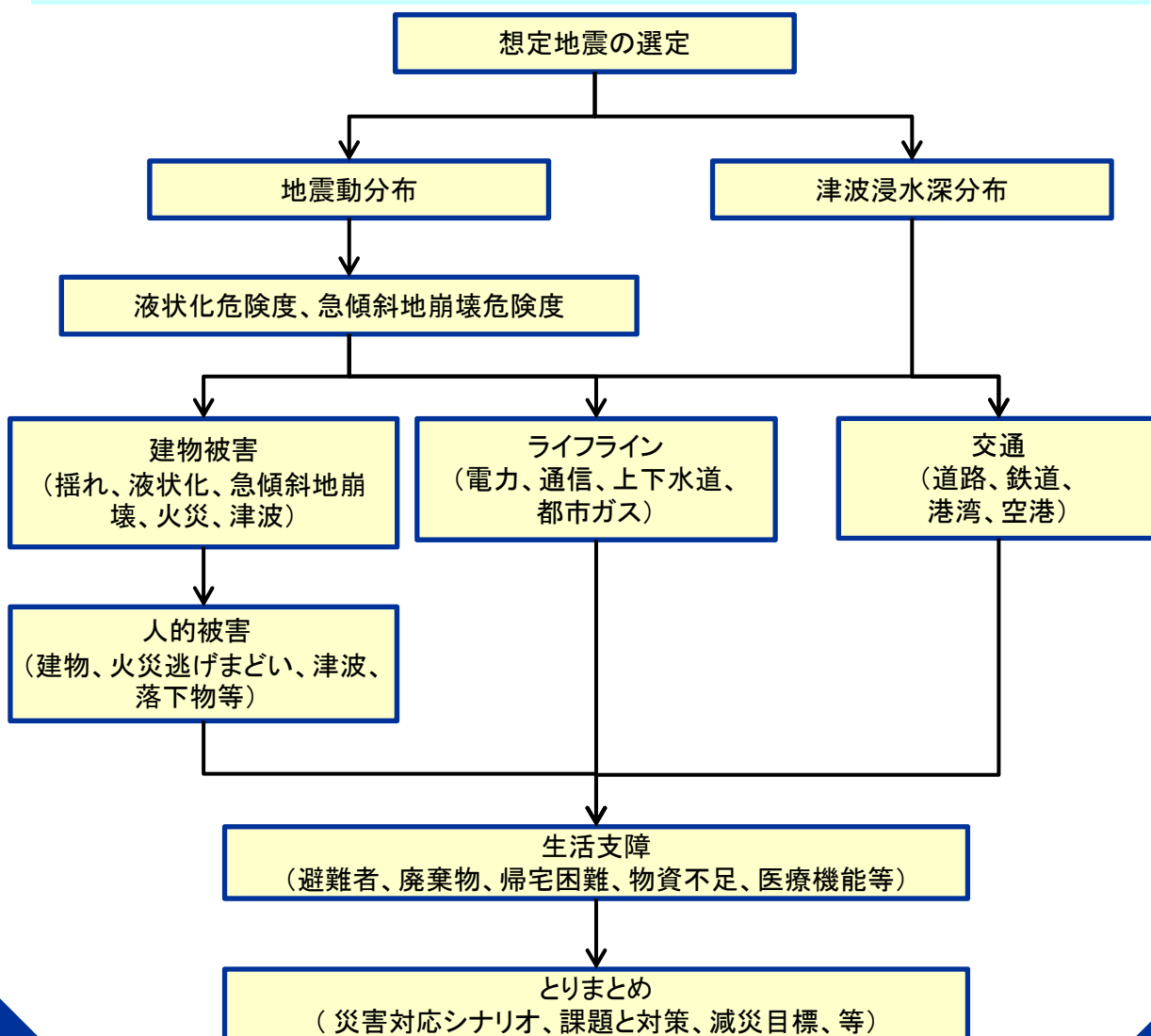
地震津波被害想定

リスクを知り、効果的な対策を講じるために

迫りくる巨大地震、直下地震

- 内閣府による南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害想定が公表され、施設の耐震化、津波避難計画、道路啓開計画などハード・ソフトを組み合わせた様々な検討が必要とされています。
- その検討のためには、地震津波による被害想定を行い、量的にかつ弱いエリアや施設をあぶりだすことが重要です。
- 日本海側など他地域でも懸念され、今後必要性が高まると考えられます。

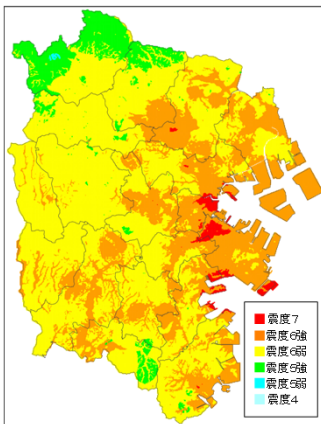
地震被害想定の流れ





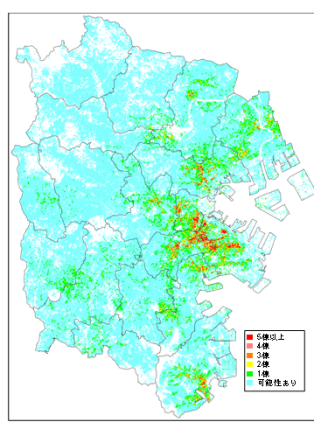
当社の技術の特徴

- 断層モデルを用いた地震動評価は、港湾施設やダム施設の設計用入力地震動策定でも多くの実績を有しています。
- 揺れの表層での増幅・液状化評価では、東京ガスの地震防災システム（地震発生から30分以内に約4,000点の地震観測情報から50mメッシュの分布を推定し、さらに液状化推定、低圧導管の被害推定を行うものです）の50mメッシュデータ構築経験を活かし実施しています（横浜市、さいたま市）。
- ボーリングデータが豊富でない地域では、地形分類等と組み合わせた方法を用いています（2004年新潟県中越地震及び2007年新潟県中越沖地震での地盤工学会報告書、岡山県、徳島県）。
- ライフラインでは、上下水道・ガスの地下埋設管路の被害推定について、被害推定式を構築するなどの経験を有しています。
- 道路施設では、橋梁・盛土などの被害推定について、国土技術政策総合研究所やNEXCO総研等の業務実績があります。
- 近年の国内外の被害地震で被災状況の現地調査を実施しており、それらの蓄積した知見を活用します。

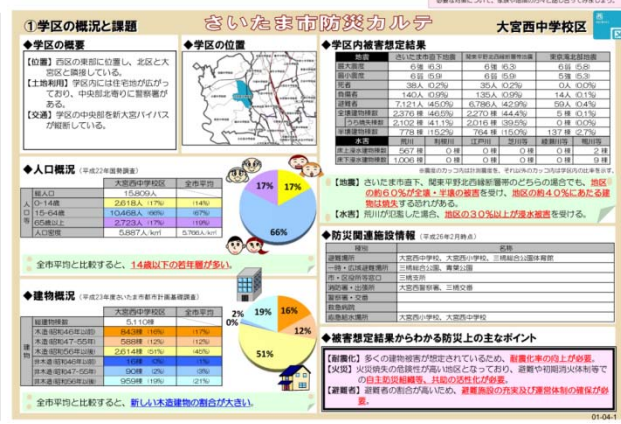


震度分布の例

(出典:横浜市地震被害想定報告書)



揺れによる建物被害の例



地区別防災カルテの例

(出典:さいたま市防災カルテ)

主な業務実績

業務名	発注者	年度
横浜市地震被害想定調査業務委託	横浜市	H23~H24
徳島県地震津波被害想定調査	徳島県	H24~H25
岡山県地震・津波被害想定詳細調査業務	岡山県	H24~H25
岡山県断層型地震被害想定詳細調査業務	岡山県	H25
さいたま市被害想定調査業務	さいたま市	H25

【お問い合わせ先】
株式会社 エイト日本技術開発 防災保全事業部
東京支社 防災保全部 末富
TEL:03-5341-5146 E-mail: suetomi-i@ej-hds.co.jp